日本キリスト教団 東金教会〔４７〕

2018年１１月２５日 降誕前第５主日礼拝

年度目標 《繋がれて生きる》

聖句 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。 ヨハネ福音書１５章５節

【礼拝式次第】

司式	森川
奏楽	中里
受付	阿部
案内	武田
名札係	土屋
礼拝感謝祈祷	岡部
〃 〃	戸波

前奏		中里
讃美歌	66	一同
使徒信条	566	〃
交読文	44	司・会衆
主の祈り	564	一同
聖書	コロサイ書1:24～25	司会者
祈祷		森川
新聖歌	355	一同
み言葉の伝え		中村
「苦しみの中の喜び」		
讃美歌	385	一同
献金		
礼拝感謝		岡部
〃 〃		戸波
報告		森川
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)		中村
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 11月28日(水)午後７時半～
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
ＣＳ教師会 本日礼拝後
臨時長老会 ＣＳ教師会後
聖書輪読会 12月2日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 12月2日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は謝恩日献金として第二献金がございます。隠退教職の方々の御用にお役立て頂く願いをもってのことでございます。宜しくお願い致します。
☆クリスマスのご案内ができております。週報棚よりお取り下さい。
☆クリスマス・ポスターが出来ております。お貼り頂ける方は宜しくお願いします。
☆九十九里教会クリスマスコンサートのご案内が来ております。12月8日(土)午後３時より開始です。お時間のございます方はお出かけ下さい。
☆今年のクリスマス礼拝は１２月２３日です。受洗希望の方は中村牧師まで申出下さい。

【11月25日～12月1日の誕生者】

○今井 姉 ○中島 姉 ○藤田 兄
○森川 兄 ○中村 兄 ※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【次週(１２月２日)聖餐式当番】

配餐者……朴・井上
祈祷者……岩崎・五木田

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(11/18)	14	32	46
聖研祈祷会(11/21)	4	5	9
聖書輪読会(11/18)	2	3	5
教会学校(11/11)	9	11	20

早天祈祷会			
日	男	女	計
11/19	1	2	3
11/20	1	2	3
11/21	1	1	2
11/22	1	2	3
11/23	1	2	3

主日礼拝献金(11/18)……30,000円
教会学校献金(11/18)……8,100円

【今日のメッセージ】

題 ［苦しみの中の喜び］
聖書 コロサイ書1:24～25
1・パウロの恐れ
2・苦しみの中での喜び
3・立ち上がるパウロ

【次週(１２月２日)礼拝案内】

題 〈秘められた計画〉
聖書 コロサイ書1:26～29
交読文 45
讃美歌 67番 274番 494番
新聖歌 316番

【次週(１２月２日)礼拝式当番】

御言葉の伝え	中村
司式者	安本
奏楽者	中屋
受付者	澤村
案内者	土波
名札当番	岡丸
礼拝感謝祈祷	戸波
〃 〃	石諭
ｃｓお話し	戸
会堂清掃者	幼稚園教
〃 〃	
花係	小林
看板書き	澤本

【聖書から】

神は言われた。「わたしは必ずあなたと共にいる。このことこそ、わたしがあなたを遣わすしるしである。あなたが民をエジプトから導き出したとき、あなたたちはこの神に仕える。」。
出エジプト記三章十二節

モーセが神様の召しに「わたしは何者でしょう」(十一節)と答えた時、その言葉には彼の今までの絶望的な経験や自分の在り方を問われるような現状への引け目が表れていると思われます。エジプトの地で、奴隷生活を強いられていたヘブライ人で生まれ、自分が殺されかけていたことの張本人であるファラオの元で保護を受けながらエジプト人として育てられたモーセ。同胞を助けるために密かにエジプト人を殺してしまったが、それがすでに他の人たちに知られていて自分の命が危うくなってしまう。助けたつもりのヘブライ人からも自分が同胞として受け入れられていないと感ずるようなことがあり、荒れ野に逃れ身を潜めました。そこに神が現れファラオの前に立つよう、ヘブライ人達を率いるよう召しました。モーセは忘れかけていた恐れと絶望の過去へと引き戻されてしまいます。見たくないもの、思い出したくないものを見つめさせられ、考えさせられました。彼の平穏を乱すようなことを神様はもたらしました。神様は何故そのようなことをされるでしょう。サタンのささやきはわたしたちをそこに留まらせることで神様の愛から離れさせるのですが、神様はわたしたちの傷を掘り起こして挫折させ、自分自身に嫌悪感を抱いたまま留まらせるのが目的ではないのです。新しいこと、新しい出会い、新しいチャンスを前にしたとき、神様の導きと愛のご計画を信じ委ねて進み出るようにすることが神さまの御心なのです。そのため、神様御自身がわたしたちをわたしたちのところで降って来て、救い出すために導かれるのです。そのメッセージの究極はクリスマスであります。その恵みを受けていることを心に留めつつ歩みましょう。

―十一月十九日 朴貞蓮牧師説教―

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。